



*** みんなで創る“てんてん祭り” ***

てんてん祭り実行委員会 委員長
夫馬 浩一

10月12日(土)秋晴れのなか、共和病院文化祭“てんてん祭り”を開催しました。

多くの関係者、地域の皆様に支えられて、てんてん祭りは今年で8回目を迎えることができました。第1回目より「和み」「繋ぐ」「彩る」「笑み」「育む」「共に」「挑む」と、テーマを掲げ行なっており、今年のテーマは「創る」に決まりました。このテーマには共和会の職員と、地域の皆様・患者様・ご家族・ボランティアさん、ご来場の皆さんと一緒にてんてん祭りを、新しく創り上げていきたいとの思いを込めています。

地域の公共施設、関係機関、コンビニ店舗様などでのポスター掲示、近隣の企業様からは当日の駐車場の提供など、様々なご協力をいただいて開催することができました。おかげさまで800名を超える来場者に恵まれ、たいへん嬉しく思います。

昨年度に新築いたしました「まごころ館」を、会場敷地に加え広げたことにより、こども広場、クラウンショー、野菜販売など、老若男女に楽しんでいただける模擬店、ステージ企画などを含め合計44の催しを用意できました。

健康チェック・血糖測定や禁煙推進ブースなどは、多くの方に関心を持っていただき、病院の文化祭らしい催し物だと好評でした。

そして今回は「創る」をテーマに病院全体で何かを作ろうと企画をし、職員の写真を集めて縦1.8m横3.6mの大きな1枚の絵を完成させました。オープニング開催後に披露して、多くのお客様や患者様から「すごい」との声をいただき、職員も絵を見て感動していました。

アンケートにも、「元気ができました」「毎年楽しみにしています」など嬉しいお言葉を多くいただきました。来年もみなさんと一緒に、てんてん祭りを盛り上げていけることを願っています。ありがとうございました。



祭りはさらに広がる



今年も昨年と同様に天候に恵まれ、さらに今年の猛暑の名残のような暑い1日となりました。ダンスによる開会と共に、中庭、あしび前、まごころ館に立ち並んだ模擬店販売もはじまりました。焼きそば、クレープ、ポップコーンをはじめ、からあげ、ナン&カレー、チヂミ、野菜、ヨーグルト、けんちん汁、フランクフルト、うどん・ラーメン、みたらし団子、ジュース、ホットドッグなどなど、今年のメニューも盛りだくさんです。昨年よりも多くご用意しましたが、たくさんのお客様にご来場いただき、早い時間での完売も相次ぐこととなりました。購入した野菜やトウモロコシなどを片手に、中庭や駐車場は歩く人で賑わっていました。

各館エリアでの催し物もさまざまです。A館の第1外来エリアではキッズコーナー「あそびVIVAてんてん」、第2外来エリアではチャリティーバザーが催されました。お値打ちな掘り出し物もあったようです。B館では健康チェックのコーナーがあり、血糖測定や一酸化炭素測定がありました。

C館では紙芝居が、まごころ館では整膚体験や作品展が催されていました。会場の各地でクラウンのみなさんがバルーンアートで楽しませていました。

午後からはC館4階ホールでのステージ企画が開始となり、太子太極拳サークルのみなさんや、「花まつり」「でらおおぶ」のみなさんによる踊りも披露していただきました。恒例となりました女装した職員によるダンスもみんなを楽しませてくれます。笑いと真剣さが交錯したダンスや、迫力を伴った太鼓、演奏等も充実していました。

中には汗をぬぐいながら、中には緊張とけぬまま、中には笑顔満載な、多くの方のいいひとときになったのでは、と感じています。

今年のテーマは「創る」でした。てんてん祭りの1日を通して、たくさんの方がそれぞれの思い出を創っていただいたのであれば幸いです。ご来場された方々、地域の方々、並びにご協力いただいた方々に深く感謝の意を表します。



てんてん祭り実行委員会

たくさんの子供たちと獅子舞！

10月13日(日)は、横根地区のお祭りがあり、子ども会のみなさんがお神輿を担いで、笛や太鼓の演奏とともに獅子舞の踊りを披露していただきました。当院C館前とまごころ館前の2か所に来ていただき、どちらもたくさんのお客様で賑わい、ご満足されたようです。ありがとうございました。



医療安全への取り組み

当院では、医療事故防止のため2000年より医療安全対策委員会、リスクマネジメント部会、暴力対策コア検討会といった医療安全に関連した委員会があり、2007年には医療安全管理室を設置しております。こうした委員会などは、連携をとり院内の事故防止に努め、患者様、ご家族、職員の安全を確保し医療の質の向上を図るために活動しています。

医療安全活動として、主にリスクマネジメント部会では各部署、各病棟からの代表者が集まり、毎月1回すべての職員からの出されたヒヤリとした、ハットしたことの体験レポートを共有し、分析して具体的な改善策の提案や未然防止、再発防止策を各部署へフィードバックします。

また、院内を定期的に巡回しマニュアルの遵守状況や実施状況の把握、5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動の推進および院内の環境整備の改善のために助言や支援を行なっています。

さらに、各部署に募集した安全標語のポスター掲示や指さし呼称を推進して、職員の安全意識の向上にも努めています。

今後も、私たちリスクマネジメント部員は、「安全で安心な優しい医療」を受けていただけるよう活動に取り組んでいきます。ご支援よろしくお願ひします。

委員長（医療安全管理者） 中井 恵子



こころの健康フェスティバル

平成25年9月14日（土）常滑市民文化会館にて『平成25年度 知多半島地域 こころの健康フェスティバル』が開催されました。

当日は台風の接近に伴い天候も安定せず、来場者の伸び悩みが心配されるスタートでした。午前中は“当事者交流会”から始まり、「あなたの願いを話しませんか？」という題名で知多半島内の病院や事業所から障がいを抱える当事者の方が集まり、願いや希望などを語り合いました。当初会場には60席を用意していましたが、始めてみると100名を超える参加者となり、会場に入りきらなくらい大盛況のなか、交流会が終了しました。

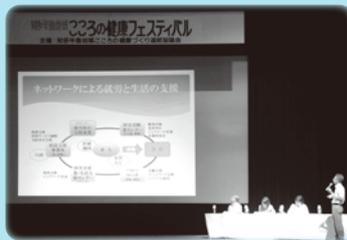
午後からの“フォーラム”では、近年注目を集めている発達障害が取り上げられ、「知多半島地域で発達障害を考える ～子供から大人までの支援について～」というテーマで名古屋大学医学部附属病院 親と子どもの心療科准教授 岡田 俊 氏による講演「発達障害とは何か？ ～自閉症スペクトラム障害を中心に～」や、「知多半島地域での医療と支援をめぐる」をテーマに、パネルトークが行なわれ、発達障害の理解にとどまらず、医療やこども・青年期・成人、家族支援、就労支援の分野から、支援者の方にお話しいただき、来場した一般のお客さんとも意見交換をして盛り上がりを見せました。

また、会場には展示コーナーも設けられ、フェスティバルの主催者である知多半島地域こころの健康づくり連絡協議会の構成団体が、パネルや施設利用者が制作した作品などを展示したり、どんな取り組みをしているのかを紹介したりしていました。

知多半島のこころの健康を考えるためには発達障害以外にも多くのテーマに取り組んでいかなければなりません。今後も精神障がいに関する知識の普及啓発・当事者とのつながりを大切にしていきたいと思ひます。



岡田 俊 氏と榎本 和 名誉院長



当院からは名誉院長の榎本 和と臨床心理士の豊田佳子が登壇

医療福祉課 濱嶋 和馬

編集後記



今年の秋も各地で祭事が開催され、賑やかな雰囲気を見ることができます。隣県の三重県にある伊勢神宮でも第62回の式年遷宮を迎え、1300年にわたる伝統と技術の継承は、日本の歴史の深さと大切さを感じます。共和病院も55年を

迎え、共和会のクリニック・事業所をはじめ地域の各関係機関と連携し発展してきました。今号で紹介している「てんてん祭り」も第八回、これからも地域の皆様へ、すえ長く楽しんでいただきたいと思ひます。

広報誌委員会 丸山 浩史



院内保育所

たんぽぽ

秋の風景

散歩へ出かけるのが気持ちの良い季節になり、保育所たんぽぽの園児たちも毎日散歩へ出かけています。

元気に走ったり歩いたりできる園児たちは友達と手をつないで散歩道を歩きます。散歩先では落ち葉を舞わせて「パラパラ～」と葉っぱの雨を楽しんでいます。葉っぱ雨の中に入って楽しむ子、保育士の真似をして葉っぱをかき集めて「パラ



パラ～」と舞わせる子、楽しみ方はみんなそれぞれ個性があります。葉っぱをごちそうに見立ててもぐもぐ食べる真似をしたり、お店屋さんが始まったりすることもあります。「お肉ですよ～。」「お野菜焼けました。熱いですよ。」「はいどうぞ。」「ありがとう。」友達同士のやり

取りも楽しみながら、イメージを膨らませています。そんな時の子どもたちの発想は保育士たちもびっくりさせられたり笑わせてもらったり。楽しいひと時です。

どんぐり拾いも楽しみの1つです。乳母車で出かけるよちよちの乳児の子もどんぐりをさわりツルツルの感触を楽しんだり、保育士お手製のペットボトルカバンにどんぐりを入れて遊んだりしています。どんぐりをまるで宝物のようにギュッと握りしめて離さない子もいます。乳母車から大きいお友達がビュンビュン走っている様子をニコニコして見たり、風で揺れる草木を指さして「う。う。」と声を出したりして、



保育士に教えてくれます。

散歩先は今の時期にしか触れ合えない自然物を十分に味わえる素敵な環境です。園児たちは五感をいっぱい働かせて秋を満喫しています。

保育士 石川 奈津美



共和会理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- 患者様に安心と満足を提供する医療
- 良質且つ効率的な医療の提供
- 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは

- 毎日の出勤が楽しくなる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が患者様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和会

共和病院

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

お知らせ

- 11月30日(土) 第15回 共和病院 地域医療フォーラムを開催します。場所／大府市役所
- 12月28日(土)～1月5日(日) 年末年始により外来診療を休診させていただきます。